

# ふたみきた

令和 2 (2020) 年 11 月 2 日  
明石市立二見北小学校

## 創立50周年

記念式典まであと 385 日  
校長 赤松 弘一



記録的な暑さの夏が過ぎ、10月はずっと秋めいてきました。11月に入り、校内の桜はしきりと紅く染まった葉を散らしています。翌春の芽吹きと開花に向けての準備に入ったようです。冬の足音がもうすぐそこに聞こえるようです。

さて、令和3年の11月20日(土)に二見北小学校では、創立50周年を記念して式典を行います。本校の創立記念日は5月15日ですが、年度始まりの煩雑な時期を避け、これまでの周年行事と同様に気候の良い秋に開催させていただきます。

今年度初めに実行委員会を発足してスタートする予定でしたが、コロナウイルス感染防止に伴う臨時休校のため、実質的なスタートは9月になりました。実行委員会は記念式典部、記念誌部、記念品部の3つの部会と、会計(監査)部、庶務部から構成されております。PTA及びOBの有志の皆様、そして、学校運営協議会、地域の自治会やまち協、スクールガードなどでご活躍の皆様には実行委員としてご協力いただいております。すでに記念誌部では具体的な計画に基づいて資料を集め、50周年記念誌の制作にとりかかっています。もし地域や卒業生の皆様の中で、記念誌に是非載せたい、残しておきたい写真などがございましたら、周年行事実行委員会 庶務(二見北小学校 教頭 078-918-5825)までご連絡ください。

いよいよ開催まで1年余りになりました創立50周年の記念行事ですが、「二見北のまちへの感謝」と「わがまちの学校を祝う」ことをコンセプトとして、地域や卒業生の皆様、PTA・保護者の皆様、在校の児童、みんなの心に残る会に、そして50年・半世紀という大きな節目にふさわしい会にしたいと思います。

学校では4年生以上の児童を対象にキャッチフレーズとロゴマークを募集しております。二見北愛♡に満ちた素晴らしい作品が続々と集まっています。

北っ子キツネは2020年5月9日に本校に現れたキツネ一家の末っ子キツネです。臨時休校中の小学校の中庭で日向ぼっこしたり、排水溝のトンネルに隠れたりして、かわいい姿を見せてくれました。創立50周年記念のマスコットにしたいと思います。



## 今月の予定

日	曜	
2	月	身体測定 (6年)
3	火	文化の日
4	水	身体測定 (5年)
5	木	県一斉津波(シェイクアウト)訓練 身体測定 (4年)
6	金	身体測定 (3年)
9	月	身体測定 (2年) 介護予防講習 (4年 2校時) 制服採寸 (6年) 周年行事委員会 (役員会)
10	火	Fタイム (サークル) 身体測定 (1年) きらきらの会 (4年)
11	水	朝会
13	金	子ども安全の日
16	月	火曜時間割
17	火	月曜時間割 代表委員会 きらきらの会 (わかば・6年)
18	水	学年音楽発表会 (6年 5校時) きらきらの会 (5年) 学校運営委員会
19	木	就学時健康診断 きらきらの会 (3年)
20	金	スクールカウンセラー来校日
23	月	勤労感謝の日
24	火	Fタイム (クラブ) きらきらの会 (1年)
25	水	月曜時間割 きらきらの会 (2年)
26	木	幼稚園交流会 (5年)
27	金	校外学習 (3年)
30	月	教育相談日

### 12月の主な行事予定

2日:朝会 8日:Fタイム(サークル) 14日:教育相談日  
15日:子ども安全の日 代表委員会 18日:スクールカウンセラー来校日  
22日:2学期給食最終日  
24日:短縮4時間授業 終業式 25日~1月6日 冬季休業日

## イベントサークルによる、「大縄大会」「北っ子サーキット」



イベントサークル主催の大縄大会がありました。3・4・5・6年は大縄をクラス対抗で行い、白熱した戦いを繰り広げました。1・2年は体育館でイベントサークル作の北っ子サーキットを楽しみます。



# オリパラムーブメント



～パラリンピックの選手のお話を聞いて～

## たいくはっぴょうかい 体育発表会



笠本選手からお話を聞いた中で、2012年のロンドン大会には、背泳ぎが無くなってショックだったけど、チームの応援が支えとなって、あきらめなかったという所が心に残りました。ショックは受けても、笠本選手はあきらめずに最後までがんばったのだと思います。それと、パラリンピックに出場される選手は自分に合わせたスタート方法を工夫しているのがすごいと思いました。しょうがいを持っていても「あきらめない」のがすごいなあと思いました。僕がもしオリンピックのような大会で競技をすることがあったら、笠本選手のように、あきらめない日本代表になりたいです。 3年

わたしは、コーチの酒井さんと笠本選手のお話を聞いて、スポーツや勉強ができるようになるのも大切だけど、それ以上に「あきらめないこと、助け合うこと」が大切だと思いました。パラリンピックの話聞いて、手足がない、目が見えないからこそ気づくことがあると私は思いました。もし私の目が見えなくなったら絶望すると思います。でも、そこからどう立ち上がるかで変わるだろうと思います。これから、身近で困っている子がいたら、やさしく声をかけてあげたいです。 4年

今日のオリパラムーブメントでパラ水泳の笠本選手とコーチの酒井さんの話を聞きました。酒井さんの話では、「障害は不便だけど、不幸ではない。」という言葉が一番印象に残りました。笠本選手の話では、視覚障害には三種類あるということが一番印象に残りました。全く見えない人が視覚障害だと思っていたけれど、見えるはん囲がせまい人や目が見えにくい人も視覚障害だということに驚きました。

私は、このオリパラムーブメントでパラリンピックにとっても興味がわきました。見る機会が来たら、ぜひ、パラリンピックを見たいと思いました。 5年

私は、足や手が使えることが当たり前だと思っていたけれど、使いたくても使えない人がいて、それがどれだけ大変かということが前よりも分かりました。

前中さんは、二歳のときに病気にかかり、歩くことが難しくなってしまったけれど、幼稚園に入りたいと思い、机を持ってでも歩く練習をしたり、一生懸命あきらめずに頑張ったりするところが素晴らしいと感心しました。私だったら、病気にかかったら、ただ悲しんでいるだけで頑張ろうとは思えなかったと思うから前中さんは本当にすごいと思います。その後、車いす競技に出会い、色々なスポーツに挑戦する姿も前向きで、かっこいいと思いました。これから私は、困っている人を見かけたら、自分から助けに行きたいです。 6年